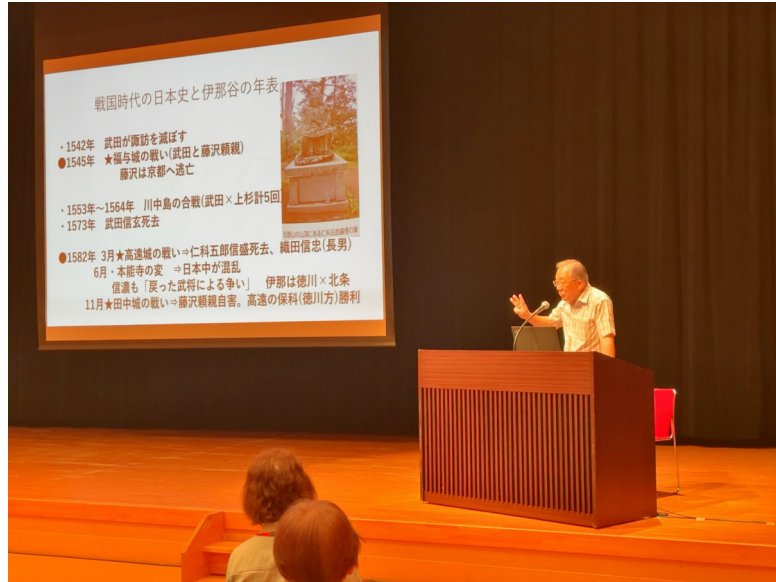


まほらいな市民大学の様子
令和6年6月25日(火)

学生自治会自主講座(学生による手作り講座) 『武田、織田、(徳川と北条)、豊臣、徳川と伊那谷』

講師 25期生 原 正章 氏



【学生の感想から】

- 凄いの一言！郷土の歴史について研究され、これをまとめながら本日の講義で多くを語っていただきましてありがとうございました。教科書にない地元の歴史を知る機会となり、市民大学で学んだこととつながり、とても分かりやすく興味を覚えました。今回だけでなく、来年度以降も市民大学のカリキュラムに取り上げていただき、更に学ぶことができれば幸甚に思います。
- 細かな資料を調べての話で聞き入りました。郷土の戦国時代のことを知ることができてよかった。
- 原正章さんの講座、とてもすばらしかった。伊那谷のこと、興味深くお聞きしました。原さんの知識の深さに感銘いたしました。
- 今この地に生きている土地のルーツを知ることができ、足元を固めていただいた気がします。とても貴重な講座でした。原さんありがとうございました。感謝致します。
- 市民大学で訪れたお寺と、地域の歴史とのかかわりをわかりやすく解説されて、参考になりました。関ヶ原の戦いも自分の故郷でも大きな影響があったことに驚きがありました。
- 伊那谷にまつわる歴史をわかりやすく説明(武田、織田、豊臣、徳川など)していただいた。伊那谷は当時10万石の石高であって、10万石を巡って各武将が攻防を繰り返したのが伊那谷の戦国史だったと、改めて知ることができて良かった。
- 学校の歴史の授業で聞くことがなかった伊那地区の歴史を、講師の原様の独自の視点でわかり易くご説明いただきありがとうございました。1580年からの百年間をフォーカスしてお話しされましたが、お話を聞いて、関ヶ原の戦い等伊那地方も関連しており、身近に感じられるようになりました。楽しいひとときでした。